

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年 3月 1日

事業所名 スタジオそら鷺沼

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	7	1	部屋を時間で区切っている。	玄関が混雑しないよう配慮していく。
	② 職員の配置数は適切であるか	7	1	子どもの様子や年齢に合わせて、2人体制で療育を行うこともある。	引き続き、支援の充実を図る。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	2	刺激になる物は出来る限り置かないようにし、必要な情報が伝わりやすいようにしている。	整理整頓を心掛ける。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間になっている。	7	1	毎日、清掃・換気・消毒を行っている。	臭い対策で工事を行うも、臭いが気になる時がある。頻度等を把握し、対応について検討する。
適切な支援の内容	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画している	7	1	朝礼、昼礼、終礼を実施している。	引き続き、支援の充実を図る。
	⑥ 保護者向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げている	6	2	全職員が評価アンケートに目を通している。	内容を確認し、職員間で話し合い改善に努める。必要に応じて本社に相談をする。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	2	ホームページで公開している。	引き続き行っていく。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	8		第三者による外部評価は実施していない。今後の課題とする。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	3	スタジオ独自のシートを使用し、他者の療育の評価を行っている。外部研修に参加している。	外部から研修の案内があった際には積極的に参加し、職員に内容を共有する。
業務改善	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	0	6か月に1回アセスメントを実施している。	引き続き、支援の充実を図る。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	0	共通のアセスメントを使用し、進め方や道具による差が出ないようにしている。	引き続き、支援の充実を図る。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	3	保護者から家庭での様子や園での様子を聞き取りしている。	引き続き、支援の充実を図る。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	0	支援計画と記録に必ず目を通してから遊びを考えている。	引き続き、支援の充実を図る。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	7	1	朝礼、昼礼時に前回の振り返りを行い、プログラムを立案している。	引き続き、支援の充実を図る。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	子どもの興味や発達の様子に合わせて対応している。	療育道具を充実させていく。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8	0	保護者のニーズや子どもの様子に合わせて作成している。	引き続き、支援の充実を図る。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	朝礼、昼礼を実施し、前回の振り返りや気を付ける点等を確認している。	引き続き、支援の充実を図る。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	0	終礼を実施し、振り返りや保護者と話した内容等を共有している。	引き続き、支援の充実を図る。
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	療育後速やかに記録をとっている。	誰が読んでも分かる内容であるよう、記入の仕方に気を付ける。
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8	0	定期的に見直しを行い、支援計画の見直しを行っている。	保護者への聞き取りも充実させていく。
	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	5	モニタリングでのやりとりはあるが、担当者会議は行われていない。	今後実施される際は参加を検討していく。
㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	6		現在関係者との連携はないが、今後検討していく。	

関係機関や保護者との連携	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	8		医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害の子どもは受け入れていない為、回答出来ず。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	8		医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害の子どもは受け入れていない為、回答出来ず。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	3	保護者から相談や希望があった際には、幼稚園や保育園などを訪問している。	引き続き、支援の充実を図る。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0	8	就学相談につけて保護者から希望があった際には、書類を作成しお渡ししている。	就学相談でお話した内容等を伺い、就学に向けて必要なことを確認していく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	3	療育センター主催の研修に参加している。他事業所から連絡があった際には情報共有をしている。	他事業所での様子を保護者に伺い、子どもの様子を把握していく。子どもの様子に合わせて関係機関との連携を密にしていく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	7		今後、検討していく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	8		今後、検討していく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	毎回取り組みでの様子を保護者に伝えている。希望がある際は、しっかりと面談の時間を設けている。	面談希望がない方にもこちらから話し掛け、子どもの様子について伺い情報を共有している。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	7		ペアレント・トレーニングについて、職員の学びを深めていく。
	保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	2	契約時だけでなく、変更があった際にもお伝えしている。
33		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8	0	アセスメントと普段の取り組み、保護者からの聞き取りをもとに発達状況を把握し、作成している。	引き続き、支援の充実を図る。
34		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0	保護者の様子を気にかけて、積極的に話す時間を設けている。話した内容を職員間で共有している。	引き続き、支援の充実を図る。
35		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	8		世の中の状況もあり、現時点では父母の会等の活動の実施は難しい。
36		子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	速やかに対応できるよう掛けている。	引き続き、支援の充実を図る。
37		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	4	ホームページなどで掲載している。	引き続き、支援の充実を図る。
38		個人情報の取扱いに十分注意している	8	0	書類やパソコンは書庫で保管。帰宅時は必ず施錠をしている。	引き続き、支援の充実を図る。
39		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	1	個々に合わせて対応している。	引き続き、支援の充実を図る。
40		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	8		世の中の状況もあり、現時点では地域の方と交流する機会を設けることは難しい。
非常時の対応		41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	1	毎年、マニュアルを使用して研修を行っている。保護者向けにマニュアルを待合室に置いていく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	1		今年度は例年通りの実施ではなかった。世の中の状況も見つつっていく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	1	フェイスシート・情報共有シートで把握している。	予防接種については、今後把握していくが検討する。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	5	フェイスシートやヒヤリングで確認・把握をしている。	食育活動など、食材に触れることがある時には事前に食材を提示し、対応などを確認する。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	終礼時にヒヤリハットを確認している。必要があれば情報共有シートに記入し、同じことが起きないようにしている。	引き続き、支援の充実を図る。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0	研修を実施している。保護者の言動を注意深く見ている。	引き続き、支援の充実を図る。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7	1	契約時に説明をしている。身体拘束を行った際には、記録に残すこととしている。	引き続き、支援の充実を図る。

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。